

REAL4(Ver1.5)

「REAL4 Ver1.5」で新規作成、データ修正等行ったデータは「REAL4 Ver1.33」以前のシステムとの下位互換はありません。 ご注意ください。

【機能追加・仕様変更】

平成 27 年 6 月 30 日

【部材マスター】

- ① B.BOX 材の板展開に対応しました。
- ②部材マスターに『プレート展開部材』の設定を追加しました。
この設定により BH、BT、B.BOX がビルド材として板展開します。

部材名	プレート展開部材
BH, BT	1 - パラメーター参照
B.BOX	1 - 鋼材扱い

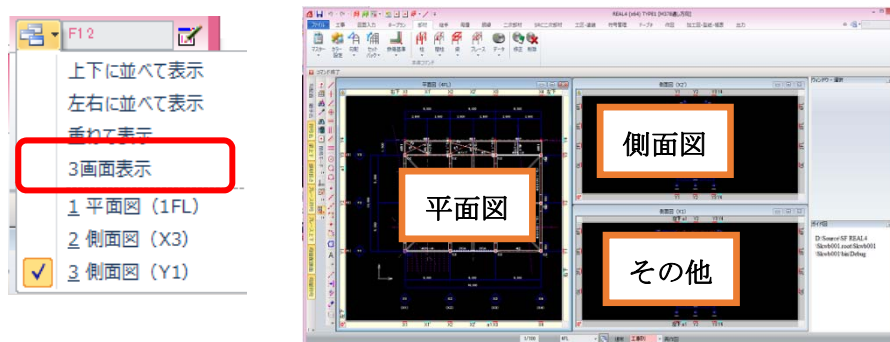
- ③B.BOX の仕口絞りに対応しました。
仕口設定で 内ダイアを無効設定にしてください。
- ④ハイベース NEO に 円形、H 形柱用を追加しました。
- ⑤アンカーボルトのナットと座金サイズをカタログ数値で作図するように変更しました。
- ⑥ハイリングⅢ 『R タイプ』を追加しました。

【配置】

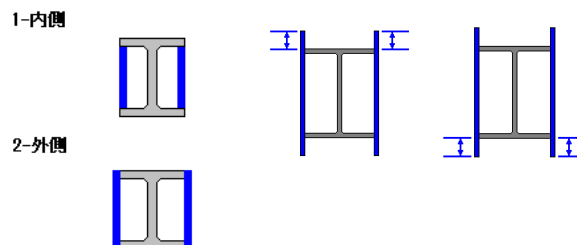
- ① 配置画面上で表示/非表示の切り替え項目を追加しました。
 本体、母屋、胴縁、二次部材、SRC 二次部材 で設定が可能です。



- ② 配置画面のマルチウィンドウ設定時 『3画面表示』機能を追加しました。

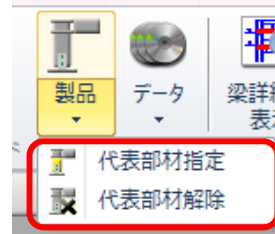


- ③ 配置画面のウィンドウに『ロック設定』を追加しました。
 ロックした場合 新規ウィンドウを追加せずロックしたウィンドウに選択した図面を表示します。
- ④ カバープレート入力、修正時『取り付け位置』『上縁』『下縁』を追加しました。

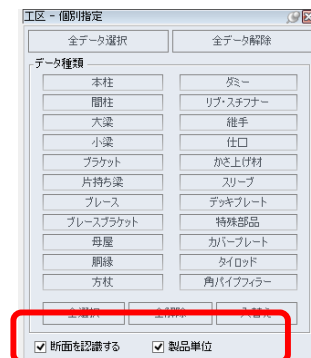


- ⑤ 照会コマンド時 3D 連動する機能を追加しました。
 配置画面上に 3D を表示し、照会コマンドで部材を選択すると 3D ソリットビューワで選択部材を強調表示します。

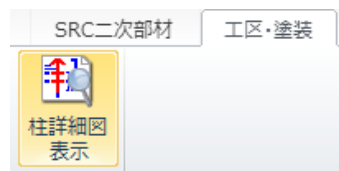
- ⑥ 工区塗装タブで『製品の代表部材指定』コマンドを追加しました。



- ⑦ 工区、建方、塗装、分類、出荷コマンドの個別指定時『断面を認識する』『製品単位』の選択を追加しました。チェックをつけて工区等個別指定しますと製品単位で工区設定することができます。



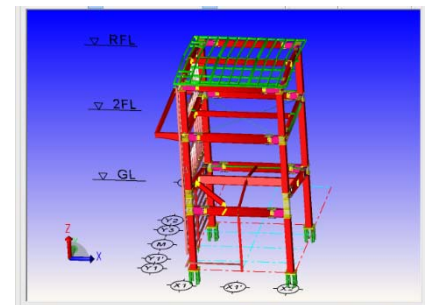
- ⑧ 工区塗装タブに『柱詳細図表示』を追加しました。



- ⑨ 柱入力、修正時『継手距離 階高参照』コマンドを追加しました。

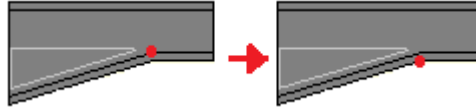
階高入力の柱継手距離設定の解除が可能となり、階高に柱継手距離が入っていても個々の柱に継手なしの設定が可能です。

- ⑩ 3D ソリットビューワにキープラン名称、階高名称を表示しました。



【データ作成関連】

- ① ハンチの三角板作成時の折れ位置を今まで内側になっていたのを外側に変更しました。



- ② 仕口部の中間の通しダイア、内ダイアを変更した場合は図番保持するように修正しました。
- ③ 裏当て金長さは 今まで部材の外周でしたが内周に変更しました。
- ④ 組合せフィラーと鋼材の継手が重ならないように修正しました。
- ⑤ 梁ブラケット溶接時 ノンスカラップの裏当て金を 2 枚に分けて出力するように変更しました。
- ⑥ 最上階と中間階の柱頂部の動きを同じにしました。これにより剛接合梁が最上階でダイアから外れることはなくなります。データにより柱高さが変わる場合があります。

【溶接マスター】

- ① 裏当て金に『換算率の計算はサイズ6mm固定』の項目を追加しました。
- ② 隅肉溶接設定にルートギャップの設定ができるようになりました。(要望)
- ③ 裏当て金の溶接量のパーセンテージ設定を追加しました。
- ④ B.BOX のエンドタブ設定を追加しました。
- ⑤ 溶接種類『11-B. BOX-かど 1』『12-B. BOX-かど 2』を追加しました。
- ⑥ ビルド材作成溶接 (B.BOX) をシャフトと仕口に分けて設定できます。
- ⑦ 裏当て金の材種に角鋼を追加しました。
- ⑧ エンドタブに部位設定を追加しました。

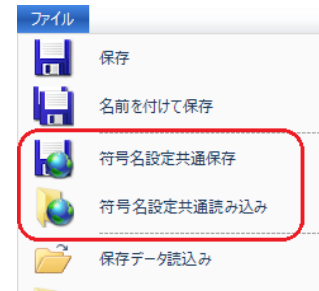
エンドタブ	
長さ	
手動/半自動	38 mm
自動	70 mm
幅	50 mm
材種	プレート
材質	1-SS400

- ⑨ B.BOX・コラム・パイプの裏当て金の『個数設定』を追加しました。

裏当て金個数設定	
コラム	B.BOX / パイプ
一括	1
範囲指定	
WH ≤ 100	1
100 < WH ≤ 300	2
300 < WH	2

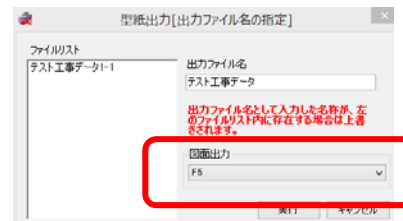
【符号管理】

- ① 鋼材符号、製品符号設定に【胴縁配置面認識符号】を追加しました。
- ② 【符号名設定共通保存】【符号名設定共通読み込み】機能を追加しました。
符号名の設定、集約条件等を共通保存し、新規工事作成時共通設定を工事別に置き換えます。



【型紙関連】

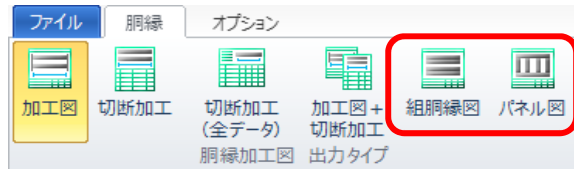
- ① 型紙取合システムで出力フォーマットを「TDF ファイル形式」に対応しました。
実寸法師システムが同じパソコンにインストールされている場合のみ有効です。
- ② 型紙出力時に 図形を同時に出力するようにしました。
工事番号¥Static の中に 横 10 枚並びの固定で出力します。



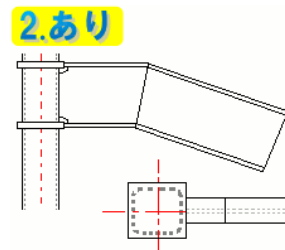
- ③ 型紙に溶接のルート (R) 値を表示するようにしました。(要望)
- ④ ブレースシートの型紙図番設定で「柱、間柱、大梁、小梁」を認識して図番設定できるようにパラメータを追加しました。
- ⑤ 型紙に表示する溶接情報で 「V 開先→レ開先」「X 開先→K 開先」表示に変更しました。

【作図関連】

- ① 胴縁を「部品」と設定した場合 胴縁加工図に作図するようにしました。
- ② 胴縁加工図で『組胴縁図』『パネル図』を分けました。



- ③ プレート発注書に「組合せフィラー」「腹側フィラー」「ハンチ三角板」を出力するように変更しました。
- ④ 柱詳細図、間柱詳細図で 溶接部材をすべて作図するパラメータを追加しました。



- ⑤ 継手基準図でガセットの追い番設定、メッキ塗装時の追加記号を追加しました
- ⑥ 梁伏図、軸組図、柱詳細図、鉄骨詳細図、溶接基準図で一括設定/編集機能を追加しました。

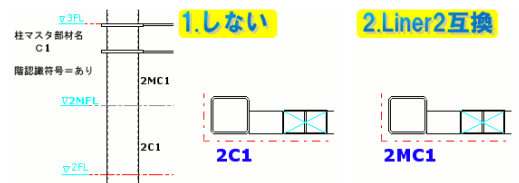
【追加パラメータ】

2. マーク・寸法

- 11) 部材符号・・・1-補正なし/2-符号未設定時は部材名表示

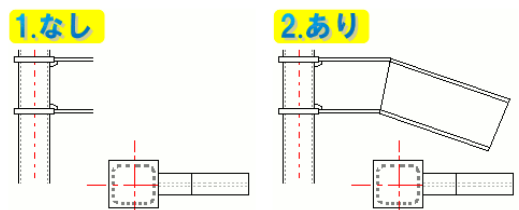
5. 梁伏図

- 27) 柱部材名の階符号補正・・・1-しない/2-Liner2 互換



9. 柱詳細図

- 66) 溶接部材の表示・・・1-なし/2-あり 溶接部材をすべて作図します。

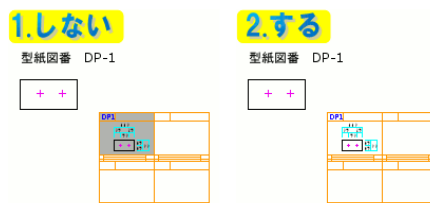


11. 梁詳細図

- 10) 作図間隔自動補正・・・1-なし/2-あり
- 54) 追い寸法押さえ位置・・・6-梁ーガセット 4 追加

13. 部品図

- 11) プレート部品出力・・・1-しない/2-する 部品型紙を部品図に作図します。



34. 柱、梁作成関連

- 12) ガセットの追い番・・・1-なし/2-あり
- 13) メッキ記号
- 14) メッキ塗装時の追加記号・・・1-なし/2-フィラー追い番の前/3-フィラー追い番の後



35. ブレース作成関連

- 16) 上すきま 17) 下すきま

40. 型紙作成関連

- 46) ブレースシート図番指定フラグ・・・3-あり (本柱、間柱、大梁、小梁) 追加
- 48) ~51) ブレースシートの型紙図番指定

46. SRC 柱バンド

- 3) 間隔調整 最小値

(株) データロジック
〒759-3113 山口県萩市大字江崎 25-1
TEL 08387-2-1129 FAX 08387-2-1866